

循環器内科コース

◆ 一般目標

一般内科の知識を基本に、循環器内科専門医としての臨床能力を身に付ける。

◆ 行動目標

- 1 循環器内科医として、適切なチーム医療を実践できる。
- 2 患者の社会的、精神的側面に配慮した治療ができる。
- 3 循環器疾患患者の病歴聴取、診察、検査、診断、治療ができる。
- 4 心電図、胸部レントゲン、CTの読影が出来る。
- 5 心エコー検査を実施し診断結果のレポートを作成できる。
- 6 運動負荷検査、核医学検査を実施し診断結果のレポートを作成できる。
- 7 心臓カテーテル検査を施行し、結果を理解しEBMに基づいた治療方針を立案できる。
- 8 心不全や急性冠症候群などの循環器救急疾患に対する適切なマネジメントが出来る。
- 9 各種不整脈の治療ができる。
- 10 冠動脈形成術の適応を理解し、手技の補助ができる。
- 11 他科からのコンサルテーションに適切に対応ができる。非心臓手術の術前心リスク評価と対応ができる。

◆ 指導医

永見 圭一（循環器内科部長、集中治療室副室長）

小山田 和弘（医長）

上野 耕嗣（医員）

◆ 認定施設

日本循環器学会研修施設

◆ 研修内容

- 1 研修期間 原則3年
- 2 1年度 日本内科学会認定医資格取得に向けて、内科医としての総合臨床研修を行う。内科疾患全般の患者を受け持つが、入院患者の診療、治療方針の立案を主体的に行う。
循環器疾患の基本的な診察法を学ぶ。

心電図の読影を初期研修医に指導しながら行う。

心エコー図、運動負荷検査、心臓カテーテル検査に助手として参加する。

2, 3年度 主に循環器疾患患者を受け持ち、指導医の下に診療を行う。EBMに基づいた治療計画を立案し実施する。

循環器救急患者の初期診療および集中治療室での治療にあたる。

心エコー図、運動負荷検査、核医学検査を術者として行う。

心臓カテーテル検査を指導医の下に実施する。

標準的な週間スケジュール

| | AM | PM | PM5～ |
|---|----------|-----------|-------------|
| 月 | 心エコー図 | 外来 | 新入院カンファレンス |
| 火 | アイソトープ検査 | 心臓カテーテル検査 | |
| 水 | 心エコー図 | トレッドミル回診 | 症例カンファレンス |
| 木 | | 冠動脈形成術 | |
| 金 | 外来 | | 内科総合カンファレンス |
| 土 | | | |

横浜市大病院心臓外科チームとの合同カンファレンス（2ヶ月毎開催）

◆ 学会、研究会など

日本内科学会に所属し、内科認定医を取得する。日本循環器学会に所属し、同学会専門医資格の取得に向け必要な研修を行う。各種専門学会、研究会に参加し専門知識の取得に努め、さらに自らも研修中年1例は症例報告など学会活動を行う。

◆ プログラム修了後のコース

- 1 大学医局（慶應義塾大学医学部循環器内科学教室への帰室を勧めている）に入局し、助手として大学病院または教育関連病院での診療、研修を続ける。
- 2 当院の定める採用試験に合格すれば内科の医員として採用する。